



# 日本災害情報学会

## 第15回学会大会プログラム



—桐生市市民文化会館—

<b>10月26日(土) 受付開始 9:30~</b>			
開会	9:50~		
口頭発表	10:00~12:10	A会場:スカイホールA(4F)	B会場:スカイホールB(4F)
昼休み	12:10~13:00		
口頭発表	13:00~16:40	A会場:スカイホールA(4F)	B会場:スカイホールB(4F)
ポスター発表	16:50~18:50	C会場:第1会議研修室(4F)	D会場:第2会議研修室(4F)
懇親会	19:00~20:30	スカイホールB(4F)	
<b>10月27日(日) 受付開始 9:10~</b>			
口頭発表	9:30~11:40	A会場:スカイホールA(4F)	B会場:スカイホールB(4F)
総会①	11:50~12:50	小ホール(1F)	
昼休み	12:50~13:40		
総会②	13:40~13:50	小ホール(1F)	
廣井賞授賞式・受賞講演	13:50~14:50	小ホール(1F)	
大会記念シンポジウム	15:00~17:30	小ホール(1F)	
閉会	17:30		

会場:桐生市市民文化会館 4階

(JR桐生駅より徒歩9分、東武線新桐生駅よりタクシー5分)

参加費:会員2,000円、非会員4,000円、会員学生1,000円、非会員学生2,000円

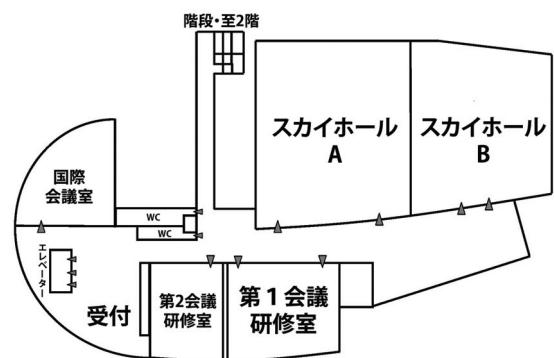
予稿集代:会員2,000円、非会員4,000円、会員学生1,000円、非会員学生2,000円

懇親会費:会員4,000円、非会員4,000円、会員学生2,000円、非会員学生2,000円

桐生市市民文化会館 周辺図



桐生市市民文化会館 4階 見取り図



- |           |         |
|-----------|---------|
| A会場(口頭)   | スカイホールA |
| B会場(口頭)   | スカイホールB |
| C会場(ポスター) | 第1会議研修室 |
| D会場(ポスター) | 第2会議研修室 |
| 懇親会会場     | スカイホールB |

10月26日(土) 10:00~11:00

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場(スカイホールA)

A1 津波(1)(座長 児玉真)

A-1-1 津波の予想高さと緊急時コミュニケーション  
~市町村の避難呼びかけにどう反映されるか~  
○福長 秀彦(NHK放送文化研究所)

A-1-2 「南海トラフ巨大地震」の被害想定に関する住民の意識と反応ーデジタル放送研究会下田市・黒潮町調査からー  
○中村 功(東洋大学)  
天野 篤(アジア航測株式会社)  
藤吉洋一郎(デジタル放送研究会)  
水上 知之(三重県)  
中森 広道(日本大学) 他

A-1-3 津波防災のアクションリサーチ  
~避難訓練と防災教育の充実化を目指して~  
○孫 英英(京都大学大学院情報学研究科)  
近藤 誠司(NHK大阪放送局)  
宮本 匠(京都大学防災研究所)  
矢守 克也(京都大学防災研究所)

B会場(スカイホールB)

B1 防災教育(1)(座長 定池祐季)

B-1-1 巨大災害のリスク・コミュニケーション  
災害情報の新しいかたち  
○矢守 克也(京都大学防災研究所)

B-1-2 負担が災害対策を促進する 個人による災害準備へのイニシエーション研究の応用  
○中谷内一也(同志社大学心理学部)

B-1-3 知識構成過程への介入からみた防災教育の方向  
○田中 淳(東京大学大学院情報学環)  
地引 泰人(東京大学大学院情報学環)  
黄 欣悦(東京大学大学院学際情報学府)  
山内 祐平(東京大学大学院情報学環)

10月26日(土) 11:10~12:10

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場(スカイホールA)

A2 津波(2)(座長 中村功)

A-2-1 テレマティクス・データが示す東日本大震災後の岩手県沿岸部における通行可能な道路距離の推移  
小森 勇人(岩手大学人文社会科学部)  
○遠藤 教昭(岩手大学人文社会科学部)

A-2-2 ARを使用した東北地方太平洋沖地震津波に関する現地調査結果の可視化  
○伊豆隆太郎(パンフィックコンサルタンツ)  
熊谷 健蔵(パンフィックコンサルタンツ)  
梅本 拓馬(関西大学)  
高橋 智幸(関西大学)  
住吉 賢一(キャドセンター)  
川上 晋也(キャドセンター)

A-2-3 ソフト系IT分野の企業における震災時の対応と貢献 第2報  
布川 博士(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)  
○佐藤 究(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)  
小笠原直人(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

B会場(スカイホールB)

B2 防災教育(2)(座長 矢守克也)

B-2-1 北海道えりも町における津波防災教育の試み  
○定池 祐季(北海道大学大学院理学研究院)  
谷岡勇市郎(北海道大学大学院理学研究院)

B-2-2 学校と地域の協働による学校防災体制づくりの手法開発 茨城県つくば市における実践事例  
○李 泰榮(防災科学技術研究所)  
田口 仁(防災科学技術研究所)  
臼田裕一郎(防災科学技術研究所)  
半田 信之(防災科学技術研究所)  
長坂 俊成(立教大学)

B-2-3 洪水ハザードマップにおける行動指南表現に関する検討  
○北川 悠一(関西大学大学院総合情報学研究科)  
内藤 好敬(関西大学総合情報学部)  
田中 孝治(北陸先端科学技術大学院大学)  
堀 雅洋(関西大学総合情報学部)

(昼休み 12:10~13:00)

10月26日(土) 13:00~14:20

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場:スカイホールA

**A3 津波(3)(座長 三島和子)**

- A-3-1 避難猶予時間に着目した三陸海岸における東日本大震災津波犠牲者の特徴  
一道路網データを用いた解析から一  
○杉村 晃一(静岡市役所上下水道局)  
牛山 素行(静岡大学防災総合センター)  
横幕 早季(静岡大学)  
本間 基寛(京都大学防災研究所)
- A-3-2 東日本大震災における時系列新聞記事データにみる属性別状況と推移について  
○小山 真紀(京都大学大学院工学研究科)  
藤森 崇浩(京都大学工学研究科)  
佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)  
清野 純史(京都大学大学院地球環境学)
- A-3-3 遺族を対象とした聞き取り調査に基づく津波犠牲者の被災状況の分析  
○磯崎 真澄(岩手日報社)  
川端 章子(岩手日報社)  
小野寺卓朗(岩手日報社)  
下屋敷智秀(岩手日報社)
- A-3-4 なぜ鶴住居防災センターで多くの津波犠牲者を出したか~調査委の中間報告  
○齋藤 徳美(釜石市鶴住居地区防災センターにおける東日本大震災津波被災調査委員会)  
滝上 明(震災復興をめざす岩手はまゆり法律事務所)  
松岡 勝実(岩手大学人文社会科学部)  
李 桂香(花北ひまわり基金法律事務所)  
萩尾 信也(毎日新聞東京社会部) 他

B会場:スカイホールB

**B3 風水害(1)(座長 中谷剛)**

- B-3-1 大雨特別警報と人的被害に関する一考察  
○向井 利明(気象庁名古屋地方気象台)  
市川 信介(気象庁名古屋地方気象台)  
五十嵐洋輔(気象庁予報部予報課気象防災推進室)
- B-3-2 平成24年九州北部豪雨における情報伝達と避難行動  
自治体・消防団・自治会・住民への詳細なヒアリング調査  
○磯 敦雄(防災科学技術研究所)  
中谷 剛(防災科学技術研究所)  
三隅 良平(防災科学技術研究所)  
高橋 尚也(防災科学技術研究所)  
佐藤 高広(東京消防庁)
- B-3-3 災害情動的視点から見た2013年7月山口・島根豪雨災害および2013年8月秋田・岩手豪雨災害の特徴  
○牛山 素行(静岡大学防災総合センター)
- B-3-4 シナリオ提示型住民意向調査に基づく避難促進のための広報戦略に関する研究  
○児玉 真(IDA社会技術研究所)  
片田 敏孝(群馬大学広域首都圏防災研究センター)  
金井 昌信(群馬大学広域首都圏防災研究センター)  
波多野真樹(国土交通省荒川下流河川事務所)

10月26日(土) 14:30~15:30

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場:スカイホールA

**A4 津波(4)(座長 中森広道)**

- A-4-1 南海トラフ巨大地震後における電力需給ギャップの推計  
○寅屋敷哲也(関西大学大学院社会安全研究科)  
河田 恵昭(関西大学社会安全学部)
- A-4-2 東北地方太平洋沖地震前後における非被災住民の防災意識と対策  
○秦 康範(山梨大学)  
太田 晃史(山梨大学)
- A-4-3 津波記念碑の教訓は復興に活かされているか  
岩手県大槌町の復興計画と巨大防潮堤をめぐって  
○天野 教義(TBS テレビ)

B会場:スカイホールB

**B4 風水害(2)(座長 牛山素行)**

- B-4-1 スコアの正しい認識に基づいた防災気象情報の利用—予測検証の具体例を考察する—  
○西垣 語人(日本橋学館大学総合経営学科)
- B-4-2 市民協働による雨水グリッドの開発  
市民ダムを目指して  
○森山 聡之(福岡工業大学社会環境学部)  
和泉 信生(崇城大学情報学部情報学科)  
森下 功啓(熊本大学大学院情報電気工学専攻)  
西山 浩司(九州大学大学院工学研究院)  
武藏 泰雄(熊本大学総合情報基盤センター) 他
- B-4-3 気象情報の共同構築に向けて  
~地域気象情報の取組を通じて~  
○竹之内健介(京都大学情報学研究科)  
河田 慈人(京都大学情報学研究科)  
中西 千尋(京都大学情報学研究科)  
矢守 克也(京都大学防災研究所)

10月26日(土) 15:40~16:40

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場:スカイホールA

A5 福島原発事故(座長 加村邦茂)

A-5-1 東京電力福島第一原子力発電所事故における避難行動と安全確保行動

○関谷 直也(東洋大学社会学部)

A-5-2 福島県浪江町避難町民における生活情報の受信に関する調査報告

○斎藤 隆一(KDDI総研)

関谷 直也(東洋大学)

橋爪 絢子(首都大学東京)

森口 泰行(KDDI総研)

宮脇 景子(KDDI総研)

A-5-3 【東日本大震災】福島第一原発事故広域避難者アンケート調査(新潟)から

○天野 篤(アジア航測)

藤吉洋一郎(日本災害情報学会デジタル放送研究会代表)

中村 功(東洋大学)

東方 幸雄(TOSYS)

山崎 智彦(NHK 大阪放送局)

B会場:スカイホールB

B5 風水害(3)(座長 森山聡之)

B-5-1 豪雨時の行政機関への電話通報を基にした災害危険度の推定

○塩崎 竜哉(多治見市役所)

牛山 素行(静岡大学防災総合センター)

B-5-2 局所的大雨に対する江戸川区の取り組み

—極端気象に強い都市創り(TOMACS)の試み—

○中谷 剛(防災科学技術研究所)

三隅 良平(防災科学技術研究所)

磯 敦雄(防災科学技術研究所)

高橋 尚也(防災科学技術研究所)

高井 聖(東京都江戸川区土木部) 他

B-5-3 水害時の住民向け防災広報に関するアンケート調査

○河関 大祐(消防研究センター)

高梨 健一(消防研究センター)

遠藤 真(消防研究センター)

座間 信作(横浜国立大学)

10月26日(土) 16:50~18:50

ポスター発表(一件につき在席責任時間30分)

C会場:第1会議研修室

P1 地震・津波

P1-01 平成25(2013)年8月8日16時56分発表の「緊急地震速報」に関する対応と評価

—アンケート調査からの考察—

○中森 広道(日本大学文理学部社会学科)

P1-02 地震発生直後の速やかな初動体制構築支援

—緊急地震速報を活用した推定震度マップの紹介—

越智 正昭(ハレックス)

須東 博樹(ハレックス)

○北村 和彦(ハレックス)

P1-03 新宿区笹筒町地区における震災時の自助共助について

○藤岡 弦(東京理科大学大学院工学研究科)

岩崎あゆ子(東京理科大学工学部)

山本 栄(東京理科大学工学部)

市原 和雄(Net & Logic)

野嶋 尚子(Net & Logic)

P1-04 1923年関東大震災に関する未発見資料

「日本電報」の発見とその解析

○鈴木比奈子(防災科学技術研究所)

堀田 弥生(防災科学技術研究所)

内山庄一郎(防災科学技術研究所)

P1-05 平成25年4月淡路島地震時の対応にみる南海トラフ巨大地震に向けた応急課題の抽出

○宇野 宏司(神戸市立工業高等専門学校)

瀬崎 瑛(神戸市立工業高等専門学校)

P1-06 目標と限界を共有する“地域継続計画(DCP)”策定指針

○磯打千雅子(香川大学危機管理研究センター)

高橋 亨輔(香川大学危機管理研究センター)

井面 仁志(香川大学工学部)

岩原 廣彦(香川大学危機管理研究センター)

白木 渡(香川大学危機管理研究センター)

P1-07 新たな市町村地域継続計画(MCP)の提案—企業の共助等ではなく自治体の産業復旧・復興計画の策定へ—

○指田 朝久(東京海上日動リスクコンサルティング)

西川 智(水資源機構)

丸谷 浩明(東北大学災害科学国際研究所)

P1-08 被災市町村における受援体制のあり方について

○黒田 洋司(消防科学総合センター)

P1-09 津波危険地帯標識の設置事例を見る

○宇井 忠英(環境防災総合政策研究機構)

C会場：第1会議研修室  
P2 防災教育・防災対策

- P2-01 防災実務者を対象とした人材育成講座の構築  
～1・2期修了生を対象としたアンケート調査を踏まえて～  
○横幕 早季（静岡大学）  
牛山 素行（静岡大学）  
大森 康智（静岡大学）  
増田 俊明（静岡大学）
- P2-02 地域とともに考え、行動する防災・減災報道の  
取り組み～巡回ワークショップ「むすび塾」と  
「いのちと地域を守るキャンペーン」～  
○須藤 宣毅（河北新報社）  
高橋 鉄男（河北新報社）  
東野 滋（河北新報社）
- P2-03 防府市における防災教育システムの提案と運用  
及びその効果  
○目山 直樹（徳山工業高等専門学校）  
後藤 晃徳（徳山工業高等専門学校）  
牛丸 正美（防府市消防本部）  
湯面由紀夫（防府市防災危機管理課）  
渡邊 幸成（防府市消防本部）
- P2-04 災害に対する弱点を発見するためのイメージト  
レーニングの提案  
○藤本 一雄（千葉科学大学）  
坂本 尚史（千葉科学大学）  
狩野 勉（千葉科学大学）  
細川 正清（千葉科学大学）  
室井 房治（千葉科学大学）  
仲田 博史（銚子商工会議所）  
近藤 伸也（人と防災未来センター）
- P2-05 住民インタビュー調査に基づいた災害リスク・  
コミュニケーション支援システムの要求分析  
○中居 楓子（京都大学大学院情報学研究科）  
畑山 満則（京都大学防災研究所）  
矢守 克也（京都大学防災研究所）
- P2-06 言語学（コミュニケーション理論）から見た「効  
果的な災害情報伝達のことば」とは  
○新井 恭子（東洋大学経営学部）
- P2-07 「日本の火山ハザードマップ集」第2版の作成  
○堀田 弥生（防災科学技術研究所）  
鈴木比奈子（防災科学技術研究所）  
中村 洋一（宇都宮大学）  
棚田 俊收（防災科学技術研究所）
- P2-08 地域防災活動を総合化する防災マップ開発とそ  
の実践  
○城下 英行（関西大学社会安全学部）  
原 愛樹（フリーランスデザイナー）  
玉置 崇（小牧市立小牧中学校）  
澤平 敏秀（小牧市立小牧中学校PTA）  
斉藤 早苗（小牧市立小牧中学校PTA）
- P2-09 防災教育を目的としたARハザードマップアプ  
リケーションの開発  
○梅本 拓馬（関西大学社会安全学部）  
高橋 智幸（関西大学社会安全学部）  
熊谷 健蔵（パシフィックコンサルタンツ）  
伊豆隆太郎（パシフィックコンサルタンツ）  
川上 晋也（キャドセンター）  
住吉 賢一（キャドセンター）
- P2-10 発展途上国における住民参加型簡易堤防構築が  
もたらす住民意識変化の考察  
○川東 英治（IDA社会技術研究所）  
片田 敏孝（群馬大学広域首都圏防災研究センター）  
堀米昇士朗（元国際協力機構）
- P2-11 洪水ハザードマップ学習への動機づけに関する  
検討—居住地の凡例記号が提示されることの効果—  
○田中 孝治（北陸先端科学技術大学院）  
坂井 葉月（関西大学総合情報学部）  
北川 悠一（関西大学大学院総合情報学研究科）  
平井 達人（関西大学大学院総合情報学研究科）  
堀 雅洋（関西大学総合情報学部）
- P2-12 四日市地区における災害時の避難行動に関する  
研究  
○中島 朗（名古屋工業大学大学院）  
永田 直貴（名古屋工業大学工学部）  
山下 智美（名古屋工業大学工学部）
- P2-13 住民の主體的津波対応を促すための津波防災マ  
ップの開発  
○細井 教平（IDA社会技術研究所）  
片田 敏孝（群馬大学広域首都圏防災研究センター）  
金井 昌信（群馬大学広域首都圏防災研究センター）
- P2-14 防災気象情報の経済効果を考慮した山田のベネ  
フィットスコアによる予測検証方法の理論的考察  
○西垣 語人（日本橋学館大学リベラルアーツ学部）
- P2-15 都市機能における地下空間の水害対策に関する  
研究～増加する都市型水害の被害と対策～  
○渡辺 昂雅（名古屋工業大学工学部）  
奈良崎哲太（名古屋工業大学）  
黒田 永（名古屋工業大学）  
中島 朗（名古屋工業大学）

C会場：第1会議研修室

P3 災害報道

- P3-01 東日本大震災をめぐるメディア関心の推移  
新聞報道とソーシャルメディアに注目して  
○標葉 隆馬 (総合研究大学院大学先端科学研究科)  
田中 幹人 (早稲田大学大学院政治経済学術院)
- P3-02 東日本大震災における臨時災害放送局の活動状況について その2 福島県南相馬市および宮城県亘理町におけるリスナー調査結果より  
○宇田川真之 (人と防災未来センター)
- P3-03 東日本大震災前後の南関東の盲ろう者の情報入手量の変化  
○北村 弥生 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- P3-04 NHK アーカイブス災害映像を活用した 2000 年東海豪雨の報道マッピング  
○西村雄一郎 (奈良女子大学人文科学系)  
森田 匡俊 (愛知工業大学地域防災研究センター)  
大西 宏治 (富山大学人文学部)  
廣内 大助 (信州大学教育学部)
- P3-05 東日本大震災発生直後のテレビ広告に関する先行研究への一検討  
○杉山 高志 (京都大学情報学研究科)  
矢守 克也 (京都大学防災研究所)
- P3-06 テレビ放送における防災情報の伝達状況—テレビ局アンケート調査および web 調査から—  
○荒川 修平 (静岡県ふじのくに防災フェロー)  
牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)
- P3-07 災害時における Twitter の活用  
—2011 年台風 12 号豪雨水害における情報発信—  
○近藤 伸也 (人と防災未来センター)  
石川 哲也 (前中央大学大学院理工学研究科)  
川崎 昭如 (東京大学生産技術研究所)  
大原 美保 (東京大学生産技術研究所)  
目黒 公郎 (東京大学生産技術研究所)

D会場：第2会議研修室

P4 防災情報

- P4-01 災害事例データベースの構築と Web 配信  
○内山庄一郎 (防災科学技術研究所)  
鈴木比奈子 (防災科学技術研究所)  
堀田 弥生 (防災科学技術研究所)  
臼田裕一郎 (防災科学技術研究所)
- P4-02 統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築  
○臼田裕一郎 (防災科学技術研究所)  
田口 仁 (防災科学技術研究所)  
根岸 弘明 (防災科学技術研究所)
- P4-03 気象 API をトリガーとして用いた WEB 版応急対応支援システムの開発—2013/7/28 山口島根豪雨災害の事象に基づいた面的情報把握の重要性—  
○遠藤 真 (消防研究センター)  
細川 直史 (消防研究センター)  
河関 大祐 (消防研究センター)  
新井場公德 (消防研究センター)  
伊藤 晃 (インフォグラム)  
前田 智史 (インフォグラム)  
北村 和彦 (ハレックス)  
須東 博樹 (ハレックス)
- P4-04 災害対策本部における危機対応マネジメント支援システムの評価—災害対策本部員を対象としたユーザモデルの評価—  
○小阪 尚子 (NTT セキュアプラットフォーム研究所)  
伊藤 良浩 (NTT セキュアプラットフォーム研究所)  
前田 裕二 (NTT セキュアプラットフォーム研究所)  
伊東 昌子 (常磐大学人間科学部)
- P4-05 自治体の住民向け災害情報伝達手段に関する実態調査—神奈川県内における調査速報—  
○佐原 孝紀 (東京大学大学院工学系研究科)  
大原 美保 (東京大学大学院情報学環)
- P4-06 自治体を中心とした災害時の情報共有体制構築における防災部門と医療部門のシステム共同運用とその効果について  
○坂東 淳 (徳島大学大学院先端科学技術教育部)  
堀田 泰司 (徳島県危機管理部南海地震防災課)  
町田 千尋 (徳島県保健福祉部医療政策課)  
三村 誠二 (徳島県保健福祉部医療政策課)
- P4-07 情報伝達ツールの相違が避難情報伝達に与える影響に関する実証実験 (新潟県見附市)  
○鈴木 猛康 (山梨大学)  
湯 志君 (山梨大学大学院)
- P4-08 デジタルサイネージを活用した X バンド MP レーダー降雨情報の伝達に関する社会実験の経過と今後の課題—災害時のデジタルサイネージ活用法—  
○関谷 直也 (東洋大学社会学部)  
安本 真也 (東洋大学社会学部)  
義岡 真人 (東洋大学社会学部)  
上田 彰 (アイシフト)  
後藤あずみ (日本気象協会)
- P4-09 災害直後の避難支援を目的とした日常利用可能な災害時支援システム  
○濱村 朱里 (和歌山大学システム工学部)  
福島 拓 (静岡大学大学院工学研究科)  
吉野 孝 (和歌山大学システム工学部)  
江種 伸之 (和歌山大学システム工学部)
- P4-10 震災時における VSAT 経由の避難者情報管理システムの検討  
○小熊 博 (富山高等専門学校)  
小泉 敦 (富山高等専門学校)  
亀田 卓 (東北大学電気通信研究所)  
末松 憲治 (東北大学電気通信研究所)  
高木 直 (東北大学電気通信研究所)  
坪内 和夫 (東北大学電気通信研究所)

- P4-11 災害時健康支援情報共有システムの開発と同システムの研修における利活用  
 ○石峯 康浩 (国立保健医療科学院)  
 水島 洋 (国立保健医療科学院)  
 金谷 泰弘 (国立保健医療科学院)
- P4-12 東日本大震災を踏まえた大学の安否情報システムについての検討  
 ○湯瀬 裕昭 (静岡県立大学経営情報学部)  
 泉 正夫 (大阪府立大学大学院工学研究科)  
 柴田 義孝 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)  
 福本 昌弘 (高知工科大学情報システム工学科)
- P4-13 バスターミナルにおける災害情報設備の設置と課題  
 ○黒澤 之 (中央大学理工学研究科)  
 大胡 祐三 (横浜市都市整備局)
- P4-14 海外滞在中の短期渡航者向け安全情報提供体制に関する現状と課題  
 ○天野 真吾 (外務省在ハンガリー日本国大使館)
- P4-15 「特別警報」開始～命を守るために知って欲しい～五十嵐洋輔 (気象庁予報部予報課気象防災推進室)  
 ○高橋 賢一 (気象庁地震火山部管理課)  
 浦田 紀子 (気象庁予報部予報課気象防災推進室)  
 松村 崇行 (気象庁予報部業務課気象防災情報調整室)
- P4-16 降水短時間予報およびナウキャスト情報の気象災害への活用事例—鉄道事業者向け気象ハザードの見落とし防止システム紹介—  
 越智 正昭 (ハレックス)  
 ○須東 博樹 (ハレックス)  
 北村 和彦 (ハレックス)
- P4-17 X-NET レーダネットワークを活用した強風ナウキャスト予測手法の開発  
 ○本間 基寛 (京都大学防災研究所)  
 鈴木 靖 (京都大学防災研究所)  
 前坂 剛 (防災科学技術研究所)  
 鈴木 真一 (防災科学技術研究所)  
 後藤あずみ (日本気象協会)  
 桃谷 辰也 (日本気象協会)
- P4-18 住民の持つスマホを利用した避難者把握システムの開発  
 ○小牧 信也 (フェニックスシステム研究所)  
 大野 伸治 (フェニックスシステム研究所)  
 福田 茂則 (フェニックスシステム研究所)  
 長友 由紀 (フェニックスシステム研究所)  
 辻 利則 (宮崎公立大学)  
 山本 弘道 (吹矢 de 元気協会)

10月26日(土) 19:00~20:30

懇親会 スカイホールB

10月27日(日) 9:30~10:30

口頭発表 (一件につき発表10分、質疑5分)

A会場:スカイホールA

A6 緊急地震速報 (座長 廣井悠)

A-6-1 「緊急地震速報」の積極的利用とその意識—アンケート調査からの考察—

○中森 広道 (日本大学文理学部社会学科)

A-6-2 緊急地震速報に対する住民意識の経年変化に関する調査研究—全国定期的調査(2009-2012)に基づいて—

○大原 美保 (東京大学大学院情報学環)  
 田中 淳 (東京大学大学院情報学環)

A-6-3 緊急地震速報はどのように放送すべきか (2)—構内放送の開始条件はどうあるべきか—

○鷹野 澄 (東京大学情報学環)  
 鶴岡 弘 (東京大学地震研究所)  
 石黒 佳彦 (ソフトテックス)

B会場:スカイホールB

B6 風水害 (4) (座長 宇田川真之)

B-6-1 頻発する気象災害に対して民間気象会社が担うべき役割と次世代防災気象情報サービスの在り方

○越智 正昭 (ハレックス)  
 須東 博樹 (ハレックス)  
 北村 和彦 (ハレックス)

B-6-2 「自治体ツイッター」が伝えた豪雨・竜巻—自治体の“つぶやき”から災害情報伝達手段としての適性を探る3—

○福島 隆史 (TBSテレビ報道局)

B-6-3 東日本大震災における Twitter 上での災害関連情報の拡散分析

○加藤 翔子 (静岡県立大学大学院)  
 斉藤 和巳 (静岡県立大学大学院)  
 湯瀬 裕昭 (静岡県立大学大学院)  
 大久保誠也 (静岡県立大学大学院)  
 武藤 伸明 (静岡県立大学大学院)  
 池田 哲夫 (静岡県立大学大学院)

10月27日(日) 10:40~11:40

口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A会場:スカイホールA

A7 地震(座長 大原美保)

A-7-1 首都直下地震から生き残ることができるだろうか?  
—オリンピック見物の外国人観光客を安全に!—  
○伯野 元彦(東京大学名誉教授)

A-7-2 神奈川県藤沢市の関東大震災を歩く  
—慰霊碑・記念碑・遺構が語る災害情報—  
○武村 雅之(名古屋大学減災連携研究センター)

A-7-3 住宅用火災警報器10年問題とその対応策  
○廣井 悠(名古屋大学減災連携研究センター)  
山田 常圭(総務省消防庁消防研究センター)  
吉永 潤二(東京大学生産技術研究所)  
万本 敦(ホーチキ株式会社開発研究所)

B会場:スカイホールB

B7 防災対策(座長 福島隆史)

B-7-1 福祉事業者と連携した災害時要援護者支援方  
策の考察  
○鍵屋 一(板橋区議会事務局)

B-7-2 安否確認の備えに関する現状と課題  
○篠崎 俊哉(NTTドコモモバイル社会研究所)  
遊橋 裕泰(NTTドコモモバイル社会研究所)

B-7-3 神戸市受援計画策定の経緯と課題  
○桜井 誠一(神戸市役所)

10月27日(日) 11:50~12:50

第15回 総会① 小ホール

(昼休み 12:50~13:40)

10月27日(日) 13:40~13:50

第15回 総会② 小ホール

10月27日(日) 13:50~14:50

廣井賞授賞式・受賞講演 小ホール

(社会的功績分野)

株式会社岩手日報社 「追悼特集“忘れない”」

朝日放送株式会社報道局 「“古文書が語る巨大津波”シリーズ」

(特別功績分野)

中村 信郎 氏

10月27日(日) 15:00~17:30

大会記念公開シンポジウム 小ホール

「新想定をどう理解し、今後の防災にいかしていくべきか」

登壇者 松本 敏郎氏(黒潮町情報防災課長)  
藤山 秀章氏(内閣府参事官)  
中丸 憲一氏(NHK高知放送局)  
片田 敏孝氏(群馬大学理工学研究院)  
コーディネータ 関谷 直也氏(東洋大学)